



食育だより 1月号

1月26日発行
行田市立 南小学校

いよいよ最後の学期がスタートしました。みなさんは、楽しい冬休みを過ごすことができました。冬休みから、つい食べすぎてしまったり、生活リズムが乱れてしまっている人はいませんか。まだまだ、寒い日が続き、布団からなかなか出られなくなる季節ですが、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、寒さに負けない体づくりをしていきましょう。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間

1月24日～1月30日は、『全国学校給食週間』です。明治22年（1889年）に山形県鶴岡市のお寺の境内に、お坊さんによって小学校が作られました。お坊さんは、お経を唱えて一軒一軒家をまわって米やお金をもらい、生活が貧しくて昼食を用意できない子どものために、無償で昼食を作りました。献立は、おにぎりや焼き魚、漬物といった質素なものでしたが、これが日本で初めての給食と言われていて、この後、次第に全国に広がっていきました。現在の学校給食は、栄養バランスがとれた豊かな献立で、みなさんの健康や成長を支えています。いつも食べている給食に目を向け、給食の役割について考えてみましょう。

昭和の給食

しょうわ ねんだい
昭和30年代



パンが主食で、脱脂粉乳をお湯に溶いて作るミルクとおかず一品という献立が多かったようです。くじら肉もよく登場しました。先割れスプーンで食べました。

しょうわ ねんだい
昭和40年代



パンに合わせた洋風メニューがよく出ました。飲み物も牛乳に変わり、学校給食用の個包装チーズも作られ、乳製品が家庭に普及するきっかけにもなりました。

しょうわ ねんだい
昭和50年代



米飯給食が始まりました。カレーライスが食べられるようになり、肉じゃがなどの和食も出るようになって、内容がとても豊かになりました。はしも使われるようになりました。



ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん はじ
～全国学校給食週間が始まりました。

なが れきし がっこうきゅうしょく おも で き
そこで、長い歴史のある学校給食の思い出を聞いてみました～

たちばなこうちょう
橘 校長

先生の 給食の思い出

しょうがっこう ていがくねん ふゆ きょうしつ
小学校の低学年のころ、冬になると教室
の石油ストーブの上に置いたブリキの
洗面器の中のお湯で、給食の瓶牛乳を
担任の先生が温めてくれました。ほんの
り甘くなっておいしかったです。牛乳が
紙パックになり、教室にはエアコンが入っ
た今ではできない、なんとも昭和な思い出
です。



この かのん
金野 花音

先生の 給食の思い出

きゅうしょく じかん といっせい つくえ いどう
給食の時間になると一気に机を移動さ
せ、班をつくり友達と向き合って話しながら
食べる給食の時間がとても好きでした。
「飲むヨーグルト」や「鶏のから揚げ」
のおかわりをかけ、じゃんけんをしたのが
いい思い出です。



あらい ももこ
新井 桃子

先生の 給食の思い出

せんせい きゅうしょく だいす こうこうせい
先生は、給食が大好きでした。高校生の
ときに、「給食をまた食べたい！」と思い、
学校の先生を目指しました。
ゆめ かな まいにちきゅうしょく た しあわ
夢が叶って、毎日給食が食べられて幸
せです。



いまほこ ひろこ
今鉾 浩子

先生の 給食の思い出

こ 子どものころは、好き嫌いが多かったの
で、給食の時間が苦手でした。嫌いなもの
も少しずつ食べなければいけなかった
ので、がんばって食べました。そのおかげ
で、嫌いなものも少なくなり、今は、ほと
んど食べられるようになりました。



家族で給食について 語り合ってみませんか



す 好きな献立や給食時間の
印象深い出来事など、給食
の思い出を家族みんなで話
していきましょう。今の給食
と昔の給食の違うところ、
同じところなどを知ること
ができるかもしれません。